

本 会 会 報

◇ 第 1 回代議員会議事録

日時：平成 28 年 3 月 20 日（日）15:00～18:00

場所：横浜市立大学木原生物科学研究所 3 階ホール（舞岡キャンパス）

出席者：

[運営委員・理事・監事]

吉村淳，堤伸浩，熊丸敏博，安井秀，最相大輔，岩田洋佳，宅見薫雄，高牟禮逸朗，北柴大泰，寺石政義，草場信，甲斐浩臣，加藤鎌司，宍戸理恵子，片山健二，石本政男，犬飼義明，佐藤豊，奥本裕

[平成 26・27 年代議員]

出席：貴島祐治，佐藤裕，北柴大泰，笹沼恒男，高畑義人，石本政男，江面浩，半田裕一，矢野昌裕，吉田均，岩田洋佳，二宮正士，吉田薫，掛田克行，富田因則，小林麻子，清水顕史，築山拓司，寺石政義，吉川貴徳，加藤鎌司，草場信，佐藤和広，一谷勝之，甲斐浩臣，熊丸敏博【26 名】

欠席（議決権行使）：加藤清明，三浦秀穂，石川隆二，中村俊樹，小松田隆夫，山本俊哉，梅原三貴久，金子幸雄，三吉一光，川上直人，矢野健太郎，松田靖【12 名】

欠席：中園幹生，村井耕二【2 名】

総代議員数：40，出席数：26，議決権行使数：12

出席数については，代議員会開催の定足数，特別決議議案の成立要件を充足していた。

[平成 28・29 年代議員]

出席：久保友彦，西尾剛，岡崎桂一，山本敏央，大澤良，田中剛，久保山勉，田中淳一，松本隆，木庭卓人，佐々英徳，中村郁郎，平野博之，伊藤純一，桧原健一郎，金勝一樹，土井一行，石井尊生，齊藤大樹，辻本壽，前川雅彦，穴井豊昭【22 名】

欠席：田浦悟【1 名】

1. 報告事項

(ア) 平成 28・29 年度代議員選挙結果報告（総務第一）

地区（代議員定数 40）：代議員氏名（敬称略）

北海道（4）：貴島祐治・久保友彦・佐藤裕・三浦秀穂

東北（5）：石川隆二・岡崎桂一・北柴大泰・高畑義人・西尾剛

関東 1（7）：大澤良・久保山勉・田中淳一・田中剛・半田裕一・松本隆・山本敏央

関東 2（3）：木庭卓人・佐々英徳・中村郁郎

関東 3（5）：伊藤純一・金勝一樹・桧原健一郎・平野博之・吉田薫

中部（5）：掛田克行・小林麻子・富田因則・土井一行・村井耕二

近畿（4）：石井尊生・齊藤大樹・清水顕史・築山拓司

中国・四国（3）：草場信・辻本壽・前川雅彦

九州・沖縄（4）：穴井豊昭・甲斐浩臣・田浦悟・安井秀
(イ) 平成 28・29 年度会長・副会長意向投票結果報告（総務第一）

会長候補者 堤伸浩

副会長候補者 奥本裕

(ウ) 平成 28・29 年度運営委員の選出経過報告（総務第一）

平成 28・29 年度運営委員の選出経過中である旨，報告があった。

(エ) 運営委員会報告

会員数の推移，BS・育種学研究の発行部数，契約，その他（総務第一），科研費執行状況，HP 更新，メール配信回数（科研費），平成 28 年度日本農学賞・読農学賞（農学会），地域活動（各地域幹事），貸借対照表，正味財産増減計算書，財産目録，未収金・未払金・前払金一覧（会計），英文誌および和文誌編集状況，J-STAGE アクセス数，pdf ダウンロード数，PMC アクセス数（編集），平成 28 年春季大会，秋季大会の開催準備状況，H29 年以降の大会開催予定（集会）より報告があった。

(オ) 設立時年度 事業報告（代表理事）

一般社団法人日本育種学会平成 27 年度（設立時年度）事業報告書に基づき事業内容が報告された。

(カ) 事業監査結果の報告（監事）

事業監査報告書に基づき監査結果が報告された。

(キ) 会計監査結果の報告（監事）

一般社団法人日本育種学会会計監査報告書に基づき平成 27 年度会計監査の結果が報告された。

(ク) その他（代表理事）

志方（石原）守一氏賞制定の進捗状況について報告があった。

2. 審議事項

(ア) 特別決議議案 第 1 号議案 設立時役員（理事 2 名および監事 2 名）の解任について

投票結果に基づき，設立時役員理事 2 名および監事 2 名が解任された。

(イ) 特別決議議案 第 2 号議案 次期役員（理事 2 名および監事 2 名）の選任について

投票結果に基づき，以下の理事 2 名と監事 2 名が選任された。

代表理事 堤伸浩

理事 奥本裕

監事 加藤鎌司

監事 吉村淳

(ウ) 設立時年度事業監査・会計監査について（代表理事・会計）

挙手投票を経て承認された。

(エ) 平成 28 年度予算案について (会計)

挙手投票を経て承認された。

(オ) 一般社団法人日本育種学会の運営内規の改訂について (代表理事)

下記の 5 ヶ所について運営内規改訂の提案があり、挙手投票を経て承認された。

C. 役員その他の人事に関する事項 (変更部分の抜粋)

6) 意向投票の銘記

第 1 回目の意向投票の得票数の上位 3 位までを被選挙権者とし、その氏名を得票数とともに現代議員及び次期代議員に示し、第 2 回目の意向投票を行い、最多得票者 (同数の場合は年長者) を暫定候補者とする。

9) 役員等の任期

役員等 (会長、副会長、監事、代議員) の任期は、役員等の意向投票が行われた直後の定時代議員会から、次回の意向投票直後の定時代議員会の終結の時までとする。

10) 役員等の意向投票事務

役員等の意向投票事務は会長の名において運営委員会がこれに当たる。

11) 会長、副会長の欠員時の対応について

会長、副会長に欠員を生じた場合には改めて代議員の意向投票を実施して暫定候補者を決定し、代議員会の決議で選任する。

L. 日本育種学会会計に関する事項 (変更部分の抜粋)

2) (事業年度) 法人定款第 34 条により、事業年度は 2 月 1 日に始まり、翌年 1 月 31 日に終わる。

(カ) 第 13 回 (平成 27 年度) 論文賞の選考

投票の結果、3 編の論文賞が決定された (育種学研究第 18 巻 2 号に掲載済)。

(キ) 平成 28 年度学会賞等選考委員 (6 名) の選出

投票結果に基づき、以下の委員を選出した。

委員長: 奥本裕 (理事)、大澤良、西尾剛、辻本壽、高畑義人、草場信、貴島祐治

(ク) 平成 28-29 年度シンポジウム委員 (5 名) の選出

投票結果に基づき、以下の委員を選出した。

委員長: 岩田洋佳、佐々英徳、吉田薫、石川隆二、久保友彦

(ケ) 次期 BS・育種学研究 編集委員長について (代表理事)

矢野昌裕氏 (農研機構) について推薦があり満場一致で承認された。

(コ) その他 (総務第一)

講演登録の際に記者発表の可否のウェブ登録を導入することについて提案があり、審議の結果承認された。

3. 関連報告

シンポジウム委員会、JABEE 公益財団法人農学会技術者教育推進委員会、男女共同参画推進委員会、将来構

想委員会、LMO/ABS 連絡会、SABRAO、記者発表について関連活動の報告があった。

◇ 第 2 回代議員会議事録

日時: 2016 年 9 月 23 日 (金) 15:00 ~ 18:00

場所: 鳥取大学 農学部大会議室 (鳥取大学鳥取キャンパス)

出席者:

[理事・運営委員]

堤伸浩、奥本裕、最相大輔、奥本裕、有村慎一、犬飼剛、宍戸恵理子、石本政男、犬飼剛、佐藤豊

[代議員]

出席: 貴島祐治、佐藤裕、久保友彦、高畑義人、石川隆二、北柴大泰、西尾剛、岡崎桂一、山本敏央、大澤良、半田裕一、田中剛、久保山勉、田中淳一、松本隆、木庭卓人、佐々英徳、中村郁郎、平野博之、伊藤純一、松原健一郎、吉田薫、金勝一樹、村井耕二、富田因則、掛田克行、土井一行、石井尊生、築山拓司、齊藤大樹、辻本壽、草場信、穴井豊昭、安井秀、田浦悟 【35 名】

欠席 (議決権行使): 三浦秀穂、小林麻子、清水顕史、前川雅彦、甲斐浩臣 【5 名】

総代議員数: 40、出席数: 35、議決権行使数: 5

出席数については、代議員会開催の定足数、議案の成立要件を充足していた。

議長: 代表理事 (堤会長)

議事録: 運営委員 (庶務担当 総務第二・最相)

冒頭、辻本・鳥取大学大会委員長より挨拶があった。

1. 報告事項

(ア) 運営委員報告

総務: 会員数の推移・学会誌発行部数・HP 更新・メール配信数 (総務)、BS・シンポ科研費 (科研費)、農学会シンポジウム等 (農学会)、各地域の活動報告 (各地域幹事)、会計中間報告 (会計)、英文誌編集状況 (編集 (英文誌))、和文誌編集状況 (編集 (和文誌))、今大会開催予定・次大会開催予定 (集会)

(イ) その他

堤会長より名誉会員の逝去について報告があった。

2. 審議事項

(ア) 平成 28 年度日本育種学会賞の選考について

奥本・学会賞等選考委員長より、3 件の推薦課題の推薦理由が説明された。

学会賞

1. 北海道向け良食味水稻品種育成グループ (代表者: 佐藤毅) 「低アミロース遺伝資源を利用した北海道向け良食味水稻品種の育成」

2. 加藤鎌司 (岡山大学大学院環境生命科学研究科) 「コムギの広域栽培を可能にした出穂特性の多様性に関する

育種学的研究」

3. 北海道立総合研究機構 十勝農業試験場大豆育種グループ（代表者：田中義則）「複合傷害抵抗性と機械収穫に優れた大豆品種「ユキホマレ」とその改良品種群の育成」

投票の結果、以上の3件を平成28年度日本育種学会賞とすることが認められた。

(イ) 平成28年度日本育種学会奨励賞の選考について

奥本・学会賞等選考委員長より、3件の推薦課題の推薦理由が説明された。

奨励賞

1. 藤本龍（神戸大学農学部）「アブラナ科植物におけるゲノム多様性および雑種強勢に関する研究」

2. 風間智彦（東北大学大学院農学研究科）「細胞質雄性不稔イネの稔性回復メカニズムの分子遺伝学的解析」

3. 齊藤大樹（京都大学大学院農学研究科）「地域適応性を付与しイネの安定生産を可能にする出穂期遺伝子の同定・開発と機能解析」

投票の結果、以上の3件を平成28年度日本育種学会奨励賞とすることが認められた。

(ウ) 平成29年度日本農学賞候補者の推薦について

奥本・学会賞等選考委員長より、1件を推薦することが説明された。審議の結果、本件を育種学会として推薦することが承認された。

(エ) BS掲載料および超過ページ代の改訂等について

石本・編集委員（英文誌）より投稿時英文校閲および掲載料の改訂について説明があった。審議の結果、投稿時英文校閲の廃止が承認され、非学会員の掲載料の改訂案（Research Paper: ¥50,000/Note: ¥40,000）は、改訂理由と共に3月に成案を出すことで了承された。

(オ) BS冊子体の受け取りの選択性について

石本・編集委員（英文誌）よりBS冊子体受取の選択性について説明があった。審議の結果、継続審議となった。

(カ) 和文誌投稿規定の改訂について

犬飼・編集委員（和文誌）より、投稿規定の改訂案について説明があった。審議の結果、提案通り承認された。

(キ) 講演会における分類群・キーワードの改訂について

佐藤・集会担当より講演会演題登録時の分類群・キーワードの改訂が提案された。審議の結果、一部修正の上、次期講演会から変更することが承認された。

(ク) 奨励制度の新設について

堤会長より、石原（志方）守一賞（仮称）について、経緯が説明された。審議の結果以下の方針で引き続き検討することとなった。

賞名：石原（志方）守一 奨学金

対象：学生会員

対象課題：(例) 優秀発表賞受賞課題の中から推薦

(ケ) シニア会費の設定について

伊藤・庶務担当より、普通会员の中にシニア会費を設定することが提案された。審議の結果、提案通り承認された。

(コ) ゲノム編集技術に関する声明について

大澤・LMO委員会より、説明があった。審議の結果、LMO委員会および運営委員会での推敲の上、3学会（作物、園芸および育種）での合意形成を図る方針が承認された。

(サ) その他

講演会での口頭発表数が減少傾向である事の改善策について、運営委員会で検討することとなった。

3. 関連報告

シンポジウム委員会、JABEE公益財団法人農学会技術者教育推進委員会、男女共同参画推進委員会、記者発表、定款・運営内規等検討ワーキンググループ（座長：安井）より、関連活動の報告があった。

4. その他

(ア) 優秀発表賞の投票について

伊藤・運営委員（庶務担当）より、講演会の優秀発表賞の投票について説明があった。

◇ 平成28年度第2回運営委員会要旨

日時：2016年5月21日（土）14:00～18:00

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟1階 第1会議室

出席者：堤伸浩、奥本裕、大澤良、伊藤純一、最相大輔、富田因則、山本敏夫、草場信、北柴大泰、犬飼剛、有村慎一、齊藤大樹、築山拓司、吉田均、佐藤豊、石本政男
【出席16名】

欠席者：宍戸恵理子、甲斐浩臣、石川隆二【欠席3名】

各運営委員からの活動経過報告の後、以下の事項について審議された。

①シンポジウム科研費予算の執行方法について

②運営委員事務費、地域活動費について

③掲載料および超過ページ代の改訂について

④冊子体の受け取りの選択性について

⑤2017年秋季大会の開催日程、2018年秋季大会の開催予定

⑥地域活動の活発化による会員数の確保に向けた取り組みについて

⑦BS科研費獲得に向けた取り組みについて

⑧石原（志方）守一賞の制定について

⑨シニア会員制度の制定について

⑩懇親会費の支払い方法について

⑪財務状況の改善について

⑫日本学術会議育種学分会主催シンポジウム「気候変動に打ち勝つ育種技術（案）」の共催と支援について

⑬運営内規等検討WGの設置について

◇ 平成28年度第3回運営委員会要旨

日時：2016年9月10日（土）14:00～18:00

場所：東京大学農学部フードサイエンス棟1階 第1会議室

出席者：堤伸浩，奥本裕，大澤良，伊藤純一，最相大輔，富田因則，草場信，北柴大泰，犬飼剛，有村慎一，齊藤大樹，築山拓司，吉田均，佐藤豊，石本政男，穴戸恵理子，甲斐浩臣，石川隆二【出席18名】

欠席者：山本敏夫【欠席1名】

各運営委員からの活動経過報告の後，以下の事項について審議された。

- ①掲載料および超過ページ代の改訂案について
- ②冊子体の受け取りの選択性について
- ③学生非会員の講演会大会参加について
- ④発表の「分類群・キーワード」の改定について
- ⑤優秀発表賞の投票締め切り時刻について
- ⑥運営委員会の議事録の取扱について
- ⑦学会員および講演会参加者の属性調査について
- ⑧育種学会若手の会について
- ⑨石原（志方）守一賞の制定について
- ⑩シニア会員制度の制定について
- ⑪運営委員事務費，地域活動費について
- ⑫代議員会の議題について
- ⑬「ゲノム編集に対する育種学会としての考え方」の提言について
- ⑭要旨集の外国人のカナ表記について

◇ 日本育種学会第130回講演会選定課題記者発表報告

発表日時：平成28年9月15日（木）

場所：東京大学弥生講堂アネックス・エンゼル研究棟講義室

出席者：大澤良，有村慎一

参加機関：化学工業日報，日本農業新聞，全国農業新聞，朝日新聞社，科学新聞社

記者発表希望演題の中から以下の3課題について記者発表を実施した。

発表タイトル：

(1) イネが芒を失った理由：アジアとアフリカでは違う遺伝子が選ばれた！

(2) 日本初のデュラムコムギ新品種「セットデュール」

(3) 実用的なカフェインレス茶の品種育成を加速化へ
講演タイトル：

(1) 302「芒形成原因遺伝子RAE2の同定により明らかとなったアジアとアフリカにおけるイネ栽培化の歴史」
上原奏子・Diane R. Wang・古田智敬・南杏鶴・永井啓祐・

浅野賢治・三浦孝太郎・清水義弘・綾野まどか・土井一行・米田典夫・Greenberg Anthony・安井秀・吉村淳・呉健忠・Susan R. McCouch・芦刈基行（名古屋大学生物機能開発利用研究センター，Cornell大学，福井県立大学，九州大学，NIAS）

(2) P018「パスタに適するデュラムコムギ新品種「セットデュール」の育成」

高田兼則・谷中美貴子・石川直幸・船附稚子・長嶺敬（農研機構西日本農研，農研機構中央農研）

(3) P126「カフェインレス茶品種育成のための母本選抜用DNAマーカーの開発」

荻野暁子・谷口郁也・松元哲・福岡浩之（農研機構，元農研機構）

◇ 地域談話会だより

〈近畿地区〉

近畿作物・育種研究会

近畿作物・育種研究会第181回例会が，2016年5月28日（土）に滋賀県立大学サテライト教室（アル・プラザ彦根6階）において開催されました。例会では，特別講演1題に加え，以下の12題の一般講演がありました。参加者は75名であり，活発な議論が行われました。また，一般講演において，本談話会の新たな試みとして若手研究者を対象とした優秀発表賞が設けられ，第1回優秀発表賞の受賞者として，講演番号④浅山拓馬（滋賀県立大学大学院環境科学研究科）が選出されました。

一般講演：

①インディカ型栽培イネ（*Oryza sativa* IR36）の非脱粒性を支配する新規遺伝子座の存在。○辻村雄紀・井上千鶴・Than Myint Htun・岡佑美・石井尊生・石川亮（神戸大学大学院農学研究科）

②イネ胚発生変異体 *segmented embryo* の解析。○増本悠樹¹・高階泰宗²・森憲憲秀¹・松原健一郎²・伊藤純一²・長戸康郎²・谷坂隆俊¹・吉川貴徳¹（1. 吉備国際大学地域創成農学部，2. 東大院農生命科学）

③オオムギ細葉変異体 *narrow leafed dwarf1* の解析。○田中慎也¹・吉川貴徳¹・武田真²・谷坂隆俊¹（1. 吉備国際大学地域創成農学部，2. 岡山大学資源植物科学研究科）

④オオカナダモ（*Egeria densa*）のMn集積性に及ぼす付着微生物の寄与。○辻康介¹・浅山拓馬¹・西田和真²・長谷川博²・原田英美子²（1. 滋賀県立大学大学院環境科学研究科，2. 滋賀県立大学環境科学部）

⑤イネトウジンビエ混作栽培に適したイネ品種の選抜：トウジンビエと混作した陸稲NERICA品種の耐乾性及び収量性の評価。○森一馬¹・泉泰弘¹・山根浩二²・飯嶋盛雄²（1. 滋賀県立大学大学院環境科学研究科，2. 近畿大学大学院農学研究科）

- ⑥浮稲性遺伝子と冠水耐性遺伝子を併せ持つイネ系統の生理特性. ○尾江俊祐・笹山大輔・深山浩・東哲司(神戸大学大学院農学研究科)
- ⑦多年生水田雑草オモダカとウリカワの節間伸長はそれぞれ酸素欠乏と二酸化炭素によって促進される. ○笹山大輔・深山浩・伊藤一幸・東哲司(神戸大学大学院農学研究科)
- ⑧イネにおける株開張性と分けつ期での茎の重力屈性との関係. ○加藤恒雄・堀端章(近畿大学生物理工学部)
- ⑨和歌山におけるアカジソ在来遺伝資源. ○堀端章・松哲也(近畿大学生物理工学部)
- ⑩豆類不耕起播種栽培におけるモリブデン付加播種が萌芽と生育・収量に及ぼす影響. ○來田康男・牛尾昭浩・榎悦朗・杉本琢真(兵庫県立農林水産技術総合センター農業技術センター農産園芸部)
- ⑪米飯の食味官能試験におけるパネル選抜とその効果について. ○吉田貴宏・日野耕作・森茂之・谷口真一(滋賀県農業技術振興センター)
- ⑫葉いもち圃場抵抗性検定方法の改良. ○日野耕作¹・中川淳也²・森茂之¹・吉田貴宏¹・谷口真一¹(1. 滋賀県農業技術振興センター, 2. 現滋賀県東近江農業農村振興事務所)

特別講演:

アフロ・アジア半乾燥熱帯地域における牧農共存. 宮寄英寿氏(総合地球環境学研究所プロジェクト研究員)

近畿作物・育種研究会現地検討会

第9回現地検討会が、2016年10月22日(土)に開催されました。今回は、和歌山県湯浅町にある近畿大学附属農場の視察を行い、同場の沿革や現在行われている試験研究の説明(飯嶋盛雄氏, 近畿大学農学部)、柑橘

遺伝資源保存園を利用した柑橘類の系統解析についての話題提供(堀端章氏, 近畿大学生物理工学部)のあと、柑橘遺伝資源保存園や再生可能エネルギー; バイオエタノールを燃料とするマンゴー生産施設等を見学(説明: 志水恒介氏, 伊藤仁久氏, 近畿大学附属農場)しました。また、湯浅町にある湯浅醤油丸新本家の醤油蔵の見学も行いました。参加者は12名であり、日頃見慣れぬ施設を見学するとともに、現地案内人の方と熱心な意見交換が行われました。

日本育種学会会員異動(2016.7.21~2016.10.20)

◇普通会員入会: 清水元樹(岩手), 野下浩司(東京), 佐野直人(神奈川), 永嶋友香(静岡), 井手康人, 古田智敬(愛知)

◇学生会員入会: 内山大輔(北海道), MUJADIDI MOHAMMAD WASIF, 小林優生(茨城), 佐野平和(千葉), 山下永香, 横田絢(東京), 三橋明奈(神奈川), 水内友美子(福井), 大里美咲(愛知), 鳩野紗希(京都), 石倉園子, 福島尚樹(兵庫), 上野山遼(鳥取), 岸本和樹, 中島陽佳(岡山), 白川篤史, 原知裕(佐賀)

◇団体会員入会: (株)アースノート(沖縄)

住所変更等

◇普通会員: 門脇光一(茨城), 西尾善太(神奈川), 氷室泰代(愛知), 太田雄也(三重), 滝澤理仁(大阪), 荒木良一(和歌山), 佐藤宏之(福岡)

◇学生会員: 矢野憲司(東京)

逝去

安田昭三氏(岡山)

慎んでご冥福をお祈りいたします。